

レジメン名	催吐リスク
膵臓がん オニバイド+5-FU	中等度

適応	がん化学療法後に増悪した切除不能な膵臓がん				
投与期間	2週間を1コースとして、不応になるまで継続				
	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
①	グラニセトロンバッグ [®] 3mg +デカドロン注6.6mg 1~2V		点滴	15~30分	
②	オニバイド 5%ブドウ糖液500mL	70mg/m ²	点滴	90分	減量規定参照
③	生食 50mL		点滴	全開	フラッシュ
④	レボホリナート (1-LV) 5%ブドウ糖液250mL	200mg/m ²	点滴	2時間	
⑤	生食 50mL		点滴	全開	フラッシュ
⑥	5-FU(46h) 生食にて計115mL	2400mg/m ²	インフューザー [®] -ポンプ [®]	46時間	

投与スケジュール

薬品名	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
オニバイド		↓														↓							
レボホリナート		↓														↓							
5-FU(46h)		↓														↓							

Day1 or 15

①グラニセトロン+デカドロン (15~30分)

②オニバイド 90分

③生食50mL (全開)

④レボホリナート 2時間

⑤生食50mL (全開)

⑥5-FU (46h) インフューザー[®]-ポンプ[®]で46時間

減量規定及び中止基準

- ・UGT1A1*6若しくはUGT1A1*28のホモ接合体を有する患者、またはUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者へ投与する場合、オニバイドの開始用量は50mg/m²から。
- ・Grade3以上の有害事象で、オニバイド、フルオロウラシルを1段階減量